

1 巻頭エッセー／強みを活かして、「選ばれる都市」へ

清水勇人（さいたま市長）

特集

自立する集落

| | | | |
|----|---------|---------------------------|----------------------------|
| 4 | 基調論文 | 地域人口と所得の1%取り戻し戦略 | 藤山 浩（島根県中山間地域研究センター 研究統括監） |
| 8 | 北海道弟子屈町 | 住民主体で観光のまちづくりを進める組織を設立 | 吉田陽美 |
| 10 | 山形県白鷹町 | 「のどかな風景づくり」や「伝統工芸」で地域づくり | 高橋信博 |
| 12 | 山形県川西町 | 山村留学を通して交流人口や農産物販売の拡大 | 佐々木賢一 |
| 14 | 長野県飯田市 | 鎮守の杜を中心に集落の自立を | 長谷部三弘 |
| 16 | 新潟県十日町市 | 中越大震災復興からの村おこし | 多田朋孔 |
| 18 | 石川県能登町 | 農家民宿と地域資源を活用した観光で地域再生 | 多田喜一郎 |
| 20 | 兵庫県朝来市 | 地域の自立は「エネルギー自立のむら」から | 岡林史郎 |
| 22 | 鳥取県智頭町 | 日本1/0村おこし運動 | 國岡大輔 |
| 24 | 広島県三次市 | 住民有志出資の有限会社を設立 | 岩崎 積 |
| 26 | 愛媛県西予市 | トマトを地域資源化、映画でPR | 中井圭介 |
| 28 | 高知県四万十市 | 住民による住民のための株式会社を設立 | 高田昭男、竹葉 傳 |
| 30 | 宮崎県日南市 | 滝、棚田など地域資源で村おこし | 日高茂信 |
| 32 | 副基調論文 | 地域を中長期的に見、住民をその気にさせる技術が必要 | 高橋信博 |

レギュラーレポート

- 36 地方創生実践塾 平成27年度第3回 北海道帯広市
食と農林漁業からのイノベーション 北村 貴
- 38 移住・交流推進支援事業 福井県越前市
体験交流で田舎生活の魅力を発信 橋本弥登志
- 40 移住・交流推進支援事業 岡山県瀬戸内市
移住希望者の受け入れ体制を整備 菊地友和
- 地域づくり団体探訪 兵庫県神戸市
- 42 「兵庫県立兵庫高等学校」
長田区高校生鉄人化まつり
- 44 書籍紹介

首長の思い

- 45 地場産業による魅力の発信 中野正康（一宮市長）
- 48 センター通信

グラビア

- 2 自立する集落
- 46 都道府県漫遊 【徳島県】
- 47 手前みそですが… 【新潟県長岡市】



もみじ谷の一角にある猿丸太夫の歌碑

問い合わせ先 四日市市広報広聴課
(0599・3554・8224)

（写真提供 四日市市広報広聴課）

毎年11月23日～30日開催の水沢もみじ祭りの期間には、日没から午後9時まで紅葉のライトアップを実施し、現在でも多くの人がその美しさを堪能しています。

風光明媚なもみじ谷では、春の山桜、初夏の鮮やかな新緑、秋の紅葉と、季節ごとに様々な美しい表情を見せ、特に辺り一面を紅く染め上げる秋の紅葉は目を驚かす美しさです。多くの高名な文人墨客がその美しさを作品に表現しており、百人一首でよく知られる猿丸太夫の「奥山にもみじ踏みわけ鳴く鹿の 声聞くとときぞ秋はかなしき」もこのもみじ谷を詠んだものと伝えられています。

四日市市水沢地区のもみじ谷は、江戸時代の孤野藩主・土方侯が領内巡視を兼ねて好んで遊山し、景勝地として保護に努めたことがその始まりとされており、1809年（文化6年）、九代藩主の土方義苗により「桐溪」と命名されました。

表紙
水沢のもみじ谷

（三重県四日市市）